



日時／二〇〇七年 四月六・七日
会場／劇団道化座 D.A.シアター



作／渡辺 鶴
演出／須永克彦

2007年4月6日・7日の両日夜、マレーシアの首都、クアラルンプール・D.A. Theatreでの「幸福」上演は、お客様総立ちの熱い拍手の中、成功裡に終えることができました。道化座はアジアとの演劇交流にまた新たな一歩を踏み出すことができました。皆さまのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

今回、突如決まった初マレーシア訪問公演!! 『幸福』 in Malaysia。さて、マレーシアはどんな国なのでしょう？

一昨年、「幸福」上海公演を観て「ぜひ、公演を!!」と、マレーシアに呼んで下さった Woon Fook Sen 氏。彼だけが頼りの今回の旅。下見もせず、初めての国で公演するなんて、ホント無謀な道化座です。でも、大丈夫!! 芝居の神様が付いて来てくれますヨ、きっと。

4月4日12時、関空発、クアラルンプール到着は夕刻5時半。1時間の時差を入れて約6時間半の空の旅。迎えて下さったのは通訳の陳麗春さん、スタッフの美美(通称ビビ)、とクリスティーン嬢。車は一路空港から市内へ。両側に鮮やかな緑が広がる高速道をひた走る。マレーシアはなんと緑の多い国なんだろう!!

やがて日は暮れ、夜空に浮かび上がったのは、ダイヤモンドのような輝きを放つペトロナスツインタワー!!

清楚でかつ異国情緒あふれる上品なデザインに、一同うっとり。やはり“百聞は一見に如かず” 来てみるもんですねえ～。車はそのまま歓迎会に直行。素敵なレストランには既にたくさんの方が私たちを待っていて下さった。

須永以下、遠慮のない道化座の面々、次から次に出てくる海鮮料理に舌鼓を打ち、40度のスコッチにほろ酔いを超えて最上機嫌。挙げ句、声を揃えて「鍋の最後は絶対にコレですヨ!!」と、ナベ奉行よろしく海鮮鍋にご飯をぶち込み卵を入れ“オジャ”を振る舞う始末。…もう行儀も何もあったもんじゃない!

上海のスポン鍋もいつもこの調子で道化座流“オジャ”パーティーと化すのです。

でも、みんな「美味しい、美味しい。」と喜んで食べて下さいました。深夜12時を過ぎて漸く解散。そして、ホテルに到着。

するとなんと、籠いっぱい南国フルーツが一人に一籠ずつ届いてました! 何という歓待ぶりでしょう。公演、頑張らなくちゃ!! 歓迎に感謝しつつベットに倒れ込みました。



4月5日は朝から舞台準備。スタッフはビビとツナとウエイさん。日本から持ち込んだ星球や舞台セットに音響に衣装等々、二人芝居とはいえ、やはり準備は大変です。今回は舞台転換も現地スタッフにお願いした。言葉は通じないものの、相手の言いたいことが不思議とよく分かる。“It's my pleasure”と気遣いも細やかに努力を惜しまないスタッフの姿はなんとも嬉しく頼もしい。事前の連絡で、準備は順調。でも、日本の常識が通じないこともある。

用意して貰った小道具の「毛布」が小さなタオルだったのには驚いた。「毛布」はタオルのことらしい。常夏の国に「毛布」は必要ないとか。ゴモットモ！思いもよらなかった。こんな行き違いも、なんだか楽しい。夕刻、「星洲日報」の取材を受ける。



4月6日、照明・音響・字幕の調整、そしてリハーサルの後、夜本番。マレーシアタイムで20時予定が20分ほど遅れて開演。反応は上々。惜しめない拍手に包まれ、無事終演した。

翌7日夜、公演。昨夜よりさらに上々の出来に、観客総立ちの拍手が鳴りやまない。嬉しさが込み上げる。マレーシアでも芝居の神様は道化座にちゃんと微笑んでくれました!! メイク落としもそこそこに、大急ぎで片づけと荷造りをして、打ち上げの会場へ。車で送ってくれた青年が、感動の興奮冷めないままに「舞台の須永さんの仕草が、僕のおじいちゃんにそっくりだった。」と熱心に感想を語ってくれた。

Woon氏も「前日までずっと雨が降り続いたが、あなたたちの到着とともに連日の晴天となった。」と嬉しく微笑みながら話してくれる。40度のスコッチが疲れた身体に優しく沁みる深夜の打ち上げとなりました。

ドゥリアンなど南国フルーツは勿論、素敵なレストランから人気の屋台まで、マレー、中華、インド、イスラムなど多彩な料理の数々、時間をめっての市内観光等々、心配りの行き届いた歓迎に感謝!! 私たちはクアラルンプールを十分堪能させていただきました。

知らない異国でこんなにも嬉しく迎えていただけるのは、これ全て“お芝居”のお蔭です。芝居の神様に再度感謝!!

しかし、4月8日深夜、クアラルンプールを飛び立った飛行機は約1時間後、水補給の機械故障のため、急遽引き返すことに! タクシーで1時間かけて市内に引き返し、飛行機会社手配のホテルで仮眠。予期せぬハプニングでしたが、翌日昼過ぎに再飛行し、9日夜には無事帰神できました。



劇芸研究会のWoon Fook Sen氏と

道化座マレーシア初公演は無事大成功!!



お世話になったマレーシアの方々

新たに仲良しのアジアの友人が増えました!! 別れ際、Woon氏から「今度は何を公演しますか?」と尋ねられました。

また、訪ねてみたいマレーシア。

私たち道化座をあたたかく迎えて下さったマレーシアの方々に深く感謝いたします!!